

第六節 昭和二十六年

① 学事抜粋

昭和二十六年

四月 工芸技術講習所が廃止され、東京芸術大学美術学部工芸科に工芸計画部門が増設される。

同月 西域関係資料展観。

六月 石神井寮建設計画起こる。

② 職員その他（主に「辞令簿」による。）

昭和二十六年

三月三十一日 講師関野克、同渡辺武夫、同佐藤謙三辞任。

十一月三十日 教授小林茂、同安田新三郎辞職。

十二月三日 前田廉造（青邨）は東京芸術大学教授に、太田栄吉（聴雨）は同助教教授に、須田善二（珙中）は同講師に任命される。

同月二十日 助教授山本正義、講師奥村義三、同村田茂男辞職。

③ 卒業

昭和二十六年三月二十三日、第六十一回卒業証書授与式が行われ、左記の生徒が卒業した。同月二十三日から同二十五日まで学内で卒業制作展が開催された。

日本画科		工芸科	
斎藤正夫	川村菊恵	工芸科彫金部	山下悦夫
伊藤誠二	川久保高雄	工芸科鍛金部	西川宏夫
西川幡子	勝木健吉	工芸科漆器部	大智澄之
渡辺明節	白根美代子	工芸科陶器部	堤圭一
和田新治	田村達馬	工芸科漆器部	岩倉康二
亀尾克	野村正経	工芸科漆器部	岩倉康二
鹿島敏子	小林喜巳子	工芸科漆器部	岩倉康二
吉沢照子	海老原良江	工芸科漆器部	岩倉康二
高橋信治	青木節子	工芸科漆器部	岩倉康二
永田守	佐藤由美子	工芸科漆器部	岩倉康二
山口哲治	森菖一	工芸科漆器部	岩倉康二
松室重親	中村和夫	工芸科漆器部	岩倉康二
深見実郎	渡部周三	工芸科漆器部	岩倉康二
桐谷紀子	本山忠男	工芸科漆器部	岩倉康二
塩沢修三	関根澄子	工芸科漆器部	岩倉康二
森井ゆき	油画選科	工芸科漆器部	岩倉康二
平出宏行	中村幸雄	工芸科漆器部	岩倉康二
佐田実	古山晴男	工芸科漆器部	岩倉康二
吉田悦郎	彫刻科塑造部	工芸科漆器部	岩倉康二
油画科	三枝恭也	工芸科漆器部	岩倉康二
池亀彬	上田繁直	工芸科漆器部	岩倉康二
早川英熙	工藤喜代美	工芸科漆器部	岩倉康二
大橋皓也	小島桂子	工芸科漆器部	岩倉康二
	安藤由美子	工芸科漆器部	岩倉康二